

2024 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [豊橋中央高等学校] 担当教諭名 [木村 智子] (2年有志 35名)

相手国・地域 [インドネシア]

海外学校名 [SMA Santo Paulus Pontianak] 担当教諭名 [Lenny Lenny]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	未来探究	アートマイル活動	40
	総合的な探求の時間	SDGsについて	8

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Let's support each other to grow together!
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	互いに支え合い、共に成長していこう！ (「どのような仕事も別の誰か(仕事)と繋がっている。人や会社、国が繋がって支え、共に発展させていこう。」という意。)



■今回の取組の成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・「自分事」として物事を捉えることができた。 ・自分たちの国(日本)を客観的に捉え、問題点を見つけることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語学力(英語) ・具体的に行動するところまでなかなかいけない ・気付くことはできたが、そのもう一歩先まで学習を進めていくことが難しい ・オンラインミーティングの時間設定

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・インドネシアに対し、なんとなく「貧しい」「発展途上国」という意識が強かったが、調べ学習を通じて「なんとなく」を明確に知ろうとする姿勢が出てきた。 ・「言語の壁」を身に染みて感じたことにより、相手との意思疎通のためにも自身の語学力を向上させよう意識するようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロからのスタートだと、何をどのように調べればいいのか戸惑い、教員側の知識を丸々 与えると自身で学び取ろうとしない。だからこそ、こちらが生徒以上にまず学び、相手の国をより理解したうえで、生徒に小出しで情報を出し、調べるきっかけ作りをする必要性を感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	5月 ～ 7月	<ul style="list-style-type: none"> SDGsとアートマイルについて 日本についての調べ学習 世界で課題になっていること インドネシアについての調べ学習 働くということについて考える 	<ul style="list-style-type: none"> なんとなく知っていたことが、きちんと「理解」していないことに気づくようになった。 日本と世界のSDGsの未達成について驚いていた。 	総合4 未来探究 16
共有 相手と意見交換	9月 ～ 11月	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介をしよう 日本と豊橋中央を紹介しよう 働くということ、そして、経済成長や働きがいについてオンラインミーティングで話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> 初めて話す相手に緊張していた。 言葉の壁を強く感じていた。 自分たちが調べた内容と比べ、インドネシアの生徒たちの学習内容の高さやスライドのまとめ方に驚いていた。 	未来探究 8
融合 メッセージ作成	11月	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが思い描く未来について、文字や絵に描き起こす フォーラムやオンラインミーティングを通じて考えを共有 	<ul style="list-style-type: none"> 「働きがい」を感じるためにどうすればいいのか、目に見えないものを目に見えるように表現することへの難しさを感じていた。 	未来探究 4
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 決まったメッセージをもとに再度絵を考え、共有 作画作業 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉を絵にすることの難しさを感じていた。 大変さを感じつつも、楽しく作業していた。 	未来探究 6
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> 今までの活動を複数のチームに分かれスライドを作成 クラス内で発表し、振り返り、評価 評価を含めた内容で学内発表 	<ul style="list-style-type: none"> 相手とやり取りをし始めたころに比べ、自分たちの成長を感じていた。 自己評価で良かったところ、ダメだったところを客観的に考えられていた。 	総合的探究 4 未来探究 6

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	5	調べ学習を進めるうえで、衣食住だけでなく、宗教や教育、言語などの違いについても調べ、表面上だけでなくその国自身への理解を深めようとしていたため。
主体的に考え行動する力	4	オンラインミーティングで自分たちの調べ学習の足りなさを感じたあと、その時に答えられなかったことやそれらに関連する内容を次に話せるように調べていたため。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	スライド作成を通じて、客観的な視点で物事を捉えようとしていた。しかし、「高校生」としての視点が多く、論理的に物事をまとめるまでに至れなかったため。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	オンラインミーティングをするまではやる気に満ちているが、実際に話す場面では尻込みをしたり、相手に投げかけられた質問をその場で返すことができなかったため。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	メッセージについて十分に話し合う時間が取れず、壁画の絵について教員間でのやり取りがメインになってしまった。また、壁画制作に携わった生徒が一部になってしまったため。